

## 1. 児童推計及び想定値について

質問・意見	回答
①大規模校は国でも奨励されていないのではないか。	流山市でも好ましいとは考えてはおりませんが、新市街地地区周辺の子どもの数が増えている状況に対応するため、一時的にそうならざるを得ない状況ですが、児童、生徒の教育環境には十分配慮して対応していきます。
②小学校の学級数について、国の推奨する数とかけ離れているが、中学校の学級数についても最大を想定しながら推奨に近づけてほしい。	小学校の学級規模が48学級が適切であるとは考えていませんが、今後を見越して最大値を念頭に推計を行っています。中学校も生徒数学級数を注視しながら学級規模通学区域について検討していきます。
③学級数が48となると、過大規模校30学級のおよそ1.5倍となる。過去の他の地域の事例があること以外で48学級となる根拠について詳しく教えてほしい。	教育の質を考えたときに、これまで国の認可の前例を踏まえ、本市の教育を推進するための教育課程の実施や、良質な教育環境を維持できるのは、概ね48学級(1学年8学級)と考えており、一つの目安としています。
④推計は最大値で考えているのか。もっと多くなるのではないか。	児童生徒数は最大値で算出しています。
⑤推計値はおおたかの森駅西口と北口の未整備地区(マンション建設予定地)の人数は入っているのか。	西口、北口の未整備地区は、マンション建設を考慮し、推計値を算出しています。今後開発されるマンション情報は関係部局から情報提供を受け、推計に盛り込んでいます。
⑥人口推計値については、見直しはどのように行っていくのか。また、正確さはどれほどあるのか。もっと児童数が増えることはあるのか。	推計については毎年、建設されたマンションの入居状況やその後の推移、町名別に児童生徒数の推移を把握したりして検証を行い、推計値を更新しています。推定値と実際の数値を比較していますが、見直し後の推計値を超える実数にはなっていません。
⑦おおたかの森小学校建設時の反省が活かされているのか。また、推計値については信頼できる数値なのか。	増加見込み数の精度を上げ、更に予測できる児童数の最大値を用いて検討していきます。また、他の関係部署と連携を図り、新しい情報を取り入れながら、推計値を算出しています。平成35年度以降や今後の整備については、推計値を注視しながら進めていきたいと考えています。
⑧今後の学級数の見込みは。	推計における平成35年度の学級数は、 (1)新設小学校 1年生8学級、2年生8学級、3年生7学級、4年生5学級、5年生4学級、6年生3学級です。 (2)おおたかの森小学校 1年生10学級、2年生10学級、3年生9学級、4年生6学級、5年生7学級、6年生6学級です。 (3)小山小学校 1年生7学級、2年生8学級、3年生8学級、4年生9学級、5年生7学級、6年生7学級です。
⑨各学校の学校数が増え続け、右肩上がりになっている。ピークはいつ頃を見込んでいるのか。	小山小学校が平成40年度、おおたかの森小学校平成40年度、新設小学校41年と見込んでいます。

## 1. 児童推計及び想定値について

質問・意見	回答
⑩平成40年度におおたかの森小学校の児童数はピークとなり、教室数の不足が見込まれるが大丈夫なのか。今回の通学区域の変更案は、児童数のピーク時に対応できるのか。	おおたかの森小学校教室不足が見込まれた場合は、国の基準(1学級40人)で学級編成を行うこと、また、県の基準を超えた学級については、市独自のサポート教員を配置する等をして対応していく予定です。また、児童数のピークは一時的なものと考えています。
⑪小山小学校は今後1.5倍の児童数の増加見込みだが、許容できるのか。	小山小学校の平成35年度の想定値である1,541人46学級は対応できると考えています。
⑫新設校の最大学級数はどれくらいか。	最大48学級を想定しています。
⑬5年時に新設小学校になる。学級数の見込みを教えてください。	新設小学校の学級数は、平成33年度は、1年生6学級、2年生5学級、3年生4学級、4年生3学級、5年生3学級、6年生2学級の見込みです。
⑭つくば市(つくば駅周辺)でも、流山市と同じような状況がありました。その経験が反映されているのか。また、教育委員会ではなく、市長部局が推計を出すのではないか。	児童増加の著しいいくつかの市に視察し、行政課題として研究を行っています。 市長部局でも人口の推計は行っていますが、通学区域ごとの児童・生徒の推計という限定的なものについては行っており、流山市教育委員会として個別に児童生徒数の推計を行っております。

## 2. 通学区域の設定について

質問・意見	回答
①最終的な学区の決定はいつになるのか。	平成29年度末に一定の方向性は示したいと考えています。
②おたかの森駅北口商業地域に住んでいるが、兄が平成32年度までに小山小学校に入学した場合、新設小学校が開校する平成33年度以降はどこに入学することになるのか。	平成32年度までに小山小学校に入学した場合、上のお子さんが在籍している間に入学する下のお子さんも含め、卒業まで小山小学校に通うことができます。兄弟とも新設小学校を選択し、通うこともできるよう考えています。
③北口商業地域に住んでいます(新設校通学区域案上の赤色の区画)。H33の区切りではなく、新設小学校が建設される前から住んでいる住民については、小山小学校へ通えるような配慮をお願いしたい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。
④通学区域について、既存の区域にとらわれず、昔から住んでいる住民と、新規住民とで通学区域を分けるなどの要望をお願いします。柔軟な発想で対応していただきたい。	今回の通学区域案は、今まで様々な形で検討してきた結果、一つの案として提案させていただいています。いただいたご意見、ご要望を踏まえて再度検討をしていきたいと考えます。
⑤学校が変わる場所については、選択枠を必須としてほしい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。
⑥現在通学している人たちを優先に、おたかの森小学校に通えるようにしてほしい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。ただし、各学校の教室数等にも限度があるため全ての子どもを引き続き既存の学校に通わせることは難しいと考えます。
⑦今回の新設小学校の通学区域案は、西初石小学校区との関連はどうなっているのか。	新設小学校の建設地である大畔地区も通学区域としておりますが、西初石小学校への就学を希望する方には柔軟に対応したいと考えています。大畔地区以外での西初石小学校区の変更予定はありません。また、大畔地区は市街化調整区域のため、住んでいる児童は少なく、通学区域の変更による西初石小学校の教室数の変動などに大きな影響はないと考えています。
⑧この通学区域案については、今後変更はあるのか。あった場合の周知の方法はどのようになるのか。	現在は、案の段階です。今後、今回いただいた、ご意見ご要望を踏まえ、通学審議会に諮り、最終的に教育委員会で決定していくことになります。決定した際の周知の方法は、ホームページに掲載するとともに学校や自治会等を通して周知していく予定です。
⑨通学区域の変更はこれで2回目となります。もう1校の建設が必要ではないかと思うが、今後あらゆるリスクを考えて決めてほしい。要望として、子どもに配慮して決めていただきたい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。
⑩三輪野山四丁目に住んでいます。流山北小学校区なのですが、おたかの森小学校の許可地域となっています。流山北小学校に変更する予定はあるのか。	現在のところ、三輪野山四丁目に関する指定変更許可地域の変更は考えていません。
⑪西初石小学校区から新設小学校区となる大畔にはどのくらいの子供がいるのか。	現在1歳～12歳の子どもが14人います。

## 2. 通学区域の設定について

質問・意見	回答
⑫おたかの森駅の南口及び東口の商業地区は、今後新設区域になる可能性はあるのか。	新設小学校の通学区域を南口及び東口の商業地区に広げることは考えていません。
⑬北口商業地域に住んでいます。今、通学区域を決めなければならない理由は何か。	小山小学校側の地域は区画整理がほぼ終わり、宅地やマンションの開発計画が少なくなってきたことから、住民基本台帳上で確認できる子どもの数から児童数の見通しが立てやすくなっています。新市街地地区周辺の全ての小学校の通学区域を複合的に変更する必要があることから、今回は通学区域案としてご提示し、広くご意見をお受けすることを目的としています。
⑭東口許可地域は、おたかの森小学校に通え、かつ、新設小学校に希望があれば通えるということなのか。	原則おたかの森小学校区で、希望があれば新設小学校への就学を認めることができる地域という対応を考えています。
⑮新設小学校の通学区域で許可地域とそうでない場所はどこか。	おたかの森小学校の児童数が増えていることから、潜在的な子どもの数が多いおたかの森駅東口及び南口の商業地区は、新設小学校への指定学校変更の許可地域とするよう考えています。
⑯平成33年度までに東口から北口商業地区に引っ越した場合はどの学校に通うことになるのか。	おたかの森駅北口C140・141街区で既に建設されたマンションについては平成32年度まで小山小学校に就学していた方は、引き続き小山小学校へ就学することができるような対応を考えています。また、平成33年度からは新設小学校区となるため、希望をすれば新設小学校区へ就学することもできるよう考えています。
⑰通学区域の素案である2案、3案が今後復活することはあるのか。また、平成33年度新設校直前に、変更することはあるのか。	現在の案から、新設小学校の通学区域が広がることは考えていません。また、推計している児童数は最大値であることから、平成33年度の開校直前の変更は想定していません。
⑱新設小学校許可地域に住んでいます。許可地域は一時的なものなのか。それとも恒久的に続くのか。また、変更の可能性はあるのか。	許可地域は、一時的なものとは考えておらず、期限は設ける予定はありません。ただし、例えば今後児童数の増加が減少に転じ、各学校の教室数などに大きな偏りが生じる場合は対応を検討する必要があると考えます。
⑲6年時に新設校ができる。6年生の1年だけ新設校に移ることになるのか。そうであれば、最終学年はおたかの森小学校に通えるよう配慮をお願いしたい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。

### 3. 通学路について

質問・意見	回答
①北口商業地域の住民です。新設小学校まで小学校1年生は歩いて何分くらいかかりますか。	子供の足で30分ぐらいと考えています。
②新設小学校は子どもの足でどのくらい時間がかかるのか。(西口から)	駅の西口からは、子どもの足で20分くらいかかると見込んでいます。また、登校班の取り組みは学校によりそれぞれですが、今後決めていく内容になります。
③都市軸道路を渡ることが危険ということで、小山小学校区から八木北小学校区になった地域があるが、新設小学校の通学経路に関しては都市軸道路を渡るものとなり、矛盾している。	安全に登校できるようにどの経路が一番適切かを検討していきます。たとえば歩行者専用道路で都市軸道路を渡る経路などがあると考えています。
④警察署の前の道は今後、歩車分離となる計画はあるのか。また、学校で危ない道路は通らないという指導をしてほしい。	警察署の前の道路は今後、都市軸道路と接続され4車線になります。その通りを通学路として使うことは考えていません。他の場所で渡る経路が望ましいと考えています。
⑤道路の整備や安全の確保はどのように進めていくのか。	新しい道路の開通と共に交通の流れが変わってくるため、交通量の変化を見定めながら、安全の確保を行っていきたくと考えています。
⑥安全対策について、都市軸道路の開通の見通しはいつごろか。都市軸道路の先の道路の安全確保を行ってほしい。	都市軸道路が警察署前の大畔美田線に接続する開通予定は、当初平成30年3月を予定していましたが、工事が延びて31年度中と聞いています。しかし、信号等の安全が確保できてから開通になると思われれます。新設小学校の周辺道路は、開校に併せて道路を作ったり安全対策を講じたりする予定です。
⑦防犯面の対策はどのようになっているのか。	照明、防犯カメラ等を関係部局と協議しながら整備していくよう検討していきます。
⑧新設小学校ができる場所の周辺の安全対策はどうなっているのか教えてほしい。	今後、道路を整備していくとともに、防犯についても対策を行っていきます。
⑨雨の日や雪の日等の登下校時における安全面が心配です。路線バスを使えるようにしてほしい。また、近くにバス停がなければ、つくってほしい。	近くにバス停はありますが、登下校における路線バスの使用については御意見として今後の参考にさせていただきます。
⑩スクールバスの運用についての検討はなされたのでしょうか。	バスを運用している自治体の視察を行いました。費用面、台数、駐車場等の観点から、検討を行いましたが、運用は難しいという結果に至りました。
⑪家庭として、どのような協力をすれば良いか。	道路の歩き方や安全な登校方法について家庭でも話をさせていただきたいと思えます。

## 4. 新設校に関する要望・質問

	質問・意見	回答
建設計画	①建設地について、大畔地区が候補地となった経緯について説明して欲しい。(費用や用地について) また、大畔地区に開校することは決定事項なのか。	費用、場所、面積等について総合的に判断し市で決定しました。新設校の用地として、およそ2万平方メートル必要であり、区画整理地内ではその広さの用地が確保できなかったため、区画整理地周辺に範囲を広げて選定をしました。大畔地区に開校することは決定しており、議会でも報告しています。
	②手すり等の使いやすさを重視し、ユニバーサルデザインで設計してほしい。	配慮して進めたいと考えています。
	③学校建設の基本計画についての内容をどのように住民は知ることができるのか。また、その説明会はあるのか。新設校はなぜ大畔地区に建設されるのか。	基本計画については、ワークショップを行いながら検討していきます。内容については、「学校づくり通信」及びホームページで公開していきます。また、用地の場所については、必要面積、用地所得費用等から大畔地区となりました。
	④特別支援学級は当初の建設計画から設置する予定なのか。	特別支援学級の教室も予定しています。
	⑤校庭が校舎の増築によりつぶされることがないように要望します。	最初から最大規模の校舎を建築するのではなく、児童数の増加に伴い段階的に校舎の増築を図ります。増築計画とは別に、児童数に合わせた適正な校庭の広さを確保しています。
	⑥当初の建設予定は、学校の数が小学校2校、中学校1校ではなかったでしょうか。	御指摘のとおり当初、小学校が2校、中学校が1校の予定でしたが、当時の人口統計等により計画段階で小学校が1校、中学校が1校に変更されています。流山市教育委員会では子どもの数を定期的に推計及び検証しており、現状のおおたかの森小学校1校のままでは不足すると判断したことから、市長部局と協議を行い、結果新設小学校の建設計画に至りました。
	⑦木の学校のコンセプトはどのようなものか。なぜ木造を選択するのか。	地域の環境に配慮し、木を使った校舎の計画を立てています。また、木を多く使った設計にすることで、国の行う補助金対象事業となり財政支出上の一助とすることができます。
	⑧新設小学校開校のあと、児童数が増え、さらに新設小学校ができることはあるのか。	現在のところ、建設の予定はありません。平成35年度以降も児童推計値を注視しながら、必要な対応を講じていきます。
	⑨おおたかの森小の児童数が増え、図書室や音楽室の使用の制限がでている。教育的に制限がないようにしてほしい。	新設校は、特別教室等、子ども達の活動施設の面積を確保できるように計画します。
	⑩現在、小山小学校に通っています。児童数が増え、校舎を増設し、校庭が狭くなった。新設小学校で同じようなことにならないようにしてほしい。また、広々とした校庭、自由に体を動かせるような面積の確保をお願いしたい。また、通学距離が遠くなるため、その分、駐車場の確保をするなど、広さを活かすような学校を建設してほしい。	敷地については、2ヘクタールの敷地面積を確保し、十分な校庭面積となるよう建設を予定しています。駐車場については、今後の検討課題とさせていただきます。
	⑪新校舎は木造という説明があったが、防災面では心配はないのか。	構造は鉄筋コンクリート造と同じ構造計算をするものであり、耐震性については鉄筋コンクリート造と変わりません。防災についても、防火基準を満たすものであり、木造校舎の建設について問題はないと考えています。(法律及び国の基準を遵守するものであり、防災面でも支障ありません。)

## 4. 新設校に関する要望・質問

	質問・意見	回答
教育内容について	⑫平成35年度は過大規模校となる。サポート教員を入れるというが、職員室に教員が入るようにも想定して教室の整備をお願いしたい。	サポート教員等の人数も想定して整備をしていきます。
	⑬新設小学校の教育内容については、森の環境を活かした大畔地区ならではの教育をお願いしたい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。
	⑭新設小学校の教諭はどのような比率で配置されるのでしょうか。教員の配置は大丈夫ですか	経験年数、年齢、男女比等、他の学校とのバランスを考慮して総合的に考えて配置できるよう、千葉県教育委員会と協議します。
	⑮現在、おたかの森小学校に通っている子どもがいます。新設小学校の周辺の森はどのくらい残るのか。	大畔地区周辺の森は残すように計画しています。
	⑯新設校については、中身を大切にしたい。先生の質を落とさないように配置してほしい。	教職員の配置については、教育委員会でも課題として認識しています。県とも協議を重ねながら、経験年数、年齢等、総合的に判断しながら適正な教員配置を行っていきます。
学童について	⑰学童について、新設小学校には学童クラブができるのか。	新設小学校の敷地内に学童クラブの建設を予定しています。
	⑱新設小学校の学童への送迎バスがあるとありがたい。	学校から学童クラブに安全に登所できるよう学校敷地内に設置を考えています。送迎バスについては御意見として今後の参考とさせていただきます。
	⑲学童についての計画を教えてください。希望する人は全員入れるのか。	学校の開校に併せて整備しています。また、希望する1年生から3年生までの方は、原則全員受け入れられるように計画しています。
	⑳学童保育の受け入れは全員受け入れられるのか。他の場所にも設置する予定はあるのか。また、学童保育は3年生までか。どのくらいの割合の方が入っているのか。	1～3年生までは、原則、全て受け入れられるよう計画しています。他の場所での学童の施設は考えていません。4年生以降は、施設に空きがあれば受け入れるよう考えています。3年生までは、児童数の約25%が学童に入っています。それ以上は数パーセントという状況です。
中学校について	○新設小学校に通う子ども達の中学校については、どのように考えているのか。	現段階で、新しい中学校の建設が必要であることは認識しており、計画策定に向けて準備を始めたところです。今後も検討を進めていきます。
	○また中学校の整備については、住民の意見を聞く場を設けてほしい。	新設中学校を建設する際には説明会等を開催して参ります。
	○中学校建設の対応が遅い。迅速な対応をお願いしたい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。
	○現在、おたかの森小学校の2年生の子どもがいます。中学校の場所の選定はどのように行うのか。	中学校の用地は、現在検討を始めたところですが、建設場所については、小学校の近接が望ましいと考えています。
	○中学校を新設小学校と併せて検討しない訳はなぜか。	小学校の通学区域が決まった後、小学校の児童数や規模が決まり、その後、中学校の生徒数や規模を考えていくため、具体的な計画は今後進めていくこととなります。
	○東口商業地に住んでいます。小山小学校からおたかの森小学校に移りました。中学校の問題が、未定となっていますが、とても不安に思っている。3年間通わせることができるような中学校の建設をお願いしたい。	御意見として今後の参考にさせていただきます。今後、中学校の計画を進めて参ります。

## 5. その他

質問・意見	回答
①今後流山市への転入を制限するという動きはありませんが。	市長部局より、今後転入を制限する予定はないということです。
②住民誘致について、制限をしていくなどの対応が必要なのではないかと。	住民誘致のご意見については、市長部局に伝えさせていただきます。
③マンションの建設を抑える等の対策をし適正規模の学校にしてほしい。	現状、土地の活用方法については所有者に委ねられています。市では、高さ制限、駅前の低層階は、商業店舗の融資を要望し、人口の急激な増加を抑えるために働きかけています。
④新しく建築する住宅の制限をしてほしいと思います。(神戸市は「建築を制限する」という条例をだしました)	戸建てやマンションの建築制限に関するご要望事例があることについて市長部局と情報共有を図ります。
⑤新設小学校の整備と同様に、現在ある学校の整備もお願いしたい。長期的に考えて校舎の修繕を行うことや、児童数が減少し空き教室が多くなるのであれば、その活用等もお願いしたい。	市内小中学校の校舎については、診断を計画的に行い、必要に応じて修理、修繕を行っています。また、市内の他の学校の児童生徒数推計及び想定値からは、児童数は今後も横ばいであり、空き教室が増える状況は今のところ想定していません。
⑥学校設立は一時的なもので、今後学校の統廃合を考えているのか。	学校の閉校や統廃合については、現在は考えていません。
⑦おたかの森駅周辺の4つの学校が過大規模校になるが、その場合、ハード面として運動場や校舎の増築をどのように整備するのか。運動面では、キックマンアリーナを使用して部活動場所を確保するなどの工夫が必要になってくると思われるが検討されているのか。	既設の学校の校庭は広くすることは難しいですが、新設校は広く確保できるように計画しています。
⑧今後の予定はどうなっているのか。	1月に通学区域審議会を行い、今年度中に通学区域について、一定の方向性を出す予定でいます。また、周知については、ホームページや学校また自治会の回覧を通して行っていきます。
⑨検討の経緯や会議の内容の情報の公開を今後も行ってほしい。情報の開示に時間がかかる内容があることあることも分かるが、その中でも会議を行うことや会議があったということは早く公開できると思うのでお願いしたい。	今後、工夫しながらホームページの作成に努めていきます。
⑩もっと中期的なビジョンを持って情報を発信してほしい。	今後も情報発信に努めて参ります。